

別紙様式 1

令和7年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名	安芸高田市
-------	-------

種目	発行者	採 択 理 由
国語	光村	書籍紹介数が3学年合計で340冊と多数あり充実している。話し合いに関する単元では、多様な考え方を認め互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を旨とする示してあり、工夫がみられる。 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し助言し合うことを目標として示すことで、問題解決的な学習を実施できるようにしている。
書写	光村	正しい姿勢や執筆法、用具の使い方を示す写真・イラスト等を、姿勢・筆記用具の持ち方で見開き2ページ、用具の準備・片づけを見開き2ページの合計4ページで示している。大筆、小筆、鉛筆の持ち方を示している。右手で書く人と左手で書く人用の動画の二次元コードを掲載している。タブレットを使う姿勢を写真で示しているなど、丁寧に示されている。 また、見開き2ページで半紙原寸大の主教材の文字を示すという工夫がある。
社会 (地理的分野)	東書	調査の手順として「課題をとらえ、問いを立てよう」「地域を調査し、課題をとらえよう」「課題の要因や影響を考察しよう」「解決策を議論し、構想しよう」「地域のこれからの提案し、発信しよう」の構成になっており、手順を把握しやすい。 「世界の諸地域」における資料の総掲載数283点(写真149点、絵画13点、地図41点、図表・グラフ42点、二次元コード38点)あり、充実している。
社会 (歴史的分野)	東書	単元の導入において、見開き2ページにわたり、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示してあり、学習に入りやすくしている。 「近代の日本と世界」における資料の総掲載数423点(写真・絵図(209)地図(32)図表・グラフ(26)文書資料(47)年表(3)人物(57)二次元コード(49))あり、充実している。
社会 (公民的分野)	東書	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるために、部活動ごとの体育館使用の割り振りという身近なテーマを取り上げている。 「節の問いを解決しよう」で「シンキングツール」を使って考察するページ設けてあり、単元末のまとめで、多面的・多角的に考察させるための工夫がある。
地図	帝国	国土の地理的環境の記載例として、日本全体に関しては、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、工業、農業・水産業、交通・観光、歴史・生活・文化に関する資料や統計を記載している。防災については、4ページに渡って掲載している。また、総ページ数198。「世界と日本の資料図」28(14.1%)、「世界の諸地域」58(29.2%)、「日本の諸地域」74(37.3%)、「統計」9(0.4%)、「さくいん」11(0.5%)、「巻頭・巻末」18(0.9%)と多様な掲載があり、詳細に示されている。
数学	学図	第2学年「データの活用」において、説明したり話し合ったりする問題等の数が12(内説明を求める数2)となっており、数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動が充実している。 2次方程式の解法は「因数分解」→「平方根の考え」→「解の公式」の配列になっており、分かりやすい。また、発展的な問題の数について、1年が8問、2年が7問、3年が8問となっており、学年間のバランスが良い。

種 目	発行者	採 択 理 由
理科	啓林館	<p>コラムは「部活ラボ」など6種類となっている。各学年の巻頭に「探究とは」として探究の過程を掲載（1ページ）している。各学年の各単元の1か所に「探Q実験」を設定し、その実験に対応した「探Qシート」を巻末に添付している。各学年の巻末には、「探究の流れと探究のふり返し」を掲載している。また、「お仕事ラボ」「防災減災ラボ」などのコラムがあり、日常生活と関連を図りやすい。</p> <p>総ページ数は932、付録は全学年ある。補充的な観察・実験数は124掲載されており、科学的な体験につなげやすい。</p>
音楽 (一般)	教芸	<p>第1学年・第2・3学年上及び下に「My Voice!」として「自分の歌声を見つけよう」「自分の思いを歌声にのせよう」「鼻濁音」「豊かな歌声で、気持ちを込めて歌おう」について資料を掲載している。</p> <p>学習目標の下に音楽を形づくっている要素を例示するとともに、活動文や考えたいポイント、キャラクターの吹き出しの中に視点として示されており、具体的に音楽的な見方・考え方を働かせやすい。</p>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<p>ギターにおける学習目標達成のための支援の具体例として姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について分かりやすく説明している。</p> <p>「アンサンブルセミナー」を3カ所に掲載し、音楽的な見方・考え方を働かせて考えたいポイントを示している。注目するポイントとして、音楽を形作っている要素を示し、キャラクターの吹き出しで、考える観点を例示しており、具体的に音楽的な見方・考え方を働かせやすい。</p>
美術	光村	<p>美術1資料に「発想・構想のために」のページを設け、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を、手書きの記入例、スケッチ例とともに思考ツールを見開き2ページで示しており、言語活動を工夫しやすい。</p> <p>題材が「美術1」では19、「美術2・3」では24と掲載されており、題材数が多い。また、美術1に別冊で「資料つくってみよう見てみよう」があり、充実している。</p>
保健体育	東書	<p>「？」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定している。また、「見つける」、「学習課題」、「課題の解決」、「？」、「活用する」、「広げる」という流れで、1時間の学習の流れが共通して提示しており、学習の流れを把握しやすい。</p>
技術・家庭 (技術分野)	東書	<p>基礎的・基本的な知識及び技能のポイントとして、「ポイント」の囲みが37か所あり、ポイントを理解しやすい。また、問題解決に取り組むときに必要となる基礎的な技能を確認させるため、「テックラボ」を18ページ掲載している。</p> <p>中学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを多数用いて、教科、内容等を示しており、関連を図りやすい。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>生活の中から課題を見いだすための工夫として、編の導入には課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようになりたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげている。</p> <p>他教科等と関連させて学習を進めるための工夫として、「リンク」マークを多数示し、教科名、単元・題材概要を示している。技術分野の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、題材概要を示している。他教科や技術分野との関連を図りやすい。</p>
英語	東書	<p>社会的な話題を取り上げている単元における言語活動数（聞くことの活動2 読むことの活動6 話すこと [やりとり] の活動3 話すこと [発表] の活動3 書くことの活動3）が設定されており、特に読むことの活動が多く、長文に触れる機会が多い。</p> <p>小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列を設定しており、円滑な接続が図れるような工夫がある。</p>
道徳	東書	<p>発問は、教材文の終わりの「考えてみよう」「見つめよう」のコーナーにイラストとともに2～3つ示しており、考えるポイントを把握しやすい。</p> <p>巻末に、授業の取組や心に残った教材等を記入するページ「自分の学びをふり返ろう」を設けているとともに、ワークシートが付けられていて、思考を深めやすい。</p>